

ボランティア養成研修・自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成研修(第1回)

- 1 趣 旨 青少年教育施設の役割を理解するとともに、野外活動等の指導・支援ができるボランティア及び指導者の養成・確保を図る。
- 2 期 日 令和元年6月8日(土)～9日(日) 1泊2日
- 3 対象者 高校生・大学生・一般(15歳以上, 短大・専門学校生を含む)
- 4 募集定員 40人程度
- 5 参加者 40人(高校生26人, 大学生7人, 社会人7人)
- 6 指導者 鹿児島大学総合教育機構共通教育センター体育・健康教育部門准教授 福満 博隆 氏
大隅肝属地区消防組合中央消防署救急隊員, 国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア3人

7 日 程

6月8日(土)	6月9日(日)
9:00 受付	6:00 起床・寝具整理・清掃
9:30 開講式・ガイダンス	7:00 朝のつどい
10:00 講義1「青少年教育における体験活動」	7:30 朝食(レストラン食)
11:30 昼食(各自持参)	9:00 講義2「ボランティア活動の意義」
12:30 バスで消防署へ移動	10:45 講義3「青少年教育施設の現状と運営」
13:00 実習1「自然体験活動の安全管理」(普通救命講習I)	12:00 昼食(レストラン食)
16:00 バスで自然の家へ移動	13:00 講義4「青少年教育施設における ボランティア活動」
16:30 実習2「自然体験活動の技術」(夕食づくり)	15:00 閉講式・解散
20:30 入浴・就寝	

8 事業運営上の配慮

- 高校生が多い参加者の構成等を踏まえ、事前に講師と講義内容の打合せを行った。
- 企画時にNEAL科目を1日目にまとめ、資格取得希望者の負担軽減を図った。
- 講義1の中で、班で話す機会(アイスブレイク)を設けたため、その後の交流がスムーズになった。また、ガイダンス時に本研修の目的を明確にし、まとめ時に参加者間で感想を意見交換できるように配慮した。

9 参加者の感想

- ボランティア活動時の注意点や、子供達の気づき及び成長を促す指導方法を学ぶことができた。
- 自分が参加者だった時に、こんなに多くの事を考えながらボランティアの方は接してくれていたことを知り、自分もボランティアとなって参加者からボランティアをしたいと思ってもらえるように頑張りたい。

10 成果

- 外部講師の専門的な講義、経験談に対する満足度が高く、30人の参加者からボランティア登録の希望があった。

